

製品名: ATG4C ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00200**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 52 kDa; Observed MW: 52 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG4C
別名	ATG4C; APG4C; AURL1; AURL3; Cysteine protease ATG4C; AUT-like 3 cysteine endopeptidase; Autophagin-3; Autophagy-related cysteine endopeptidase 3; Autophagy-related protein 4 homolog C
遺伝子 ID	84938
SwissProt ID	Q96DT6
免疫原	ヒト ATG4C の組み換えタンパク質

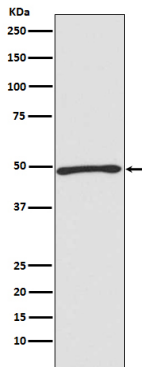
背景

オートファジーに必要なシステインプロテアーゼは、MAP1LC3、GABARAPL2、または GABARAP の C 末端部分を切断し、フォーム I を遊離させる。フォーム I のサブpopulationはその後、より小さなフォーム (フォーム II) に変換される。C 末端グリシンが露出したフォーム II は、ホスファチジルエタノールアミン (PE) 結合型と考えられており、オートファゴソームに結合する能力を有する。

研究分野

細胞生物学

画像データ



ATG4C 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の Atg4C のウエスタン ブロット分析。